

# 高校入試 全英文法 チェックリスト

中学内容の英文法（読解用）をまとめました。

※汎用的な英文法事項をまとめており、語法は一部を除き加えていません。また、中1内容の特に基礎的な部分も加えていません。

※※はポップアップ解説が付くもの（※の数はポップアップ解説数）。



<https://www.eevideo.net/sp/eibunpou-list.html>

## 1. 品詞, 文型

### 1. 品詞

品詞には**名詞**、**動詞**、**形容詞**、**副詞**などがある。

- 副詞は動詞や文全体を修飾し「どのように」「どこで」「いつ」などを表す。場所や時を表す品詞には副詞の他に名詞があるが、名詞の場合は前に**前置詞**が必要。

He went **there** **yesterday**. (どちらも副詞)

He went to the **library** **in the morning**. (どちらも名詞)

※everyなどが付くと (every morning など) 副詞句になり、前置詞は不要。

### 2. 補語

be 動詞の後に置かれる名詞や形容詞が**補語**。

- 補語を取る動詞には be 動詞だけではなく、一部の一般動詞 (不完全自動詞) もある。keep (状態), become (変化), look (感覚) などが該当。

She **is** **happy**.

She **became** **happy**.

She **looks** **happy**.

- 補語には名詞や形容詞だけではなく、分詞 (現在分詞, 過去分詞) が使われることもある。

She **is** **happy**.

She **is** **sleeping**. 【現在分詞=進行形】

She **is** **satisfied**. She **is** **loved**. 【過去分詞=受動態】

### 3. 目的語

一般動詞の後に置かれ、主に「～を」を表す名詞が**目的語**。

常に目的語が不要な**自動詞** (swim など), 目的語が必要な**他動詞** (have など) もあるが、動詞の多くは自動詞と他動詞の両方で使われる (study など)。

- 他動詞の中には、<目的語+目的語>を伴うものがある。

My father **made** **me** **a table**. 【SVOO】

= My father **made** **a table** **for me**. 【SVO】

※実際には SVOO の文はほとんど使われず、通常は下のように for~, to~ で表す。

- 他動詞の中には、<目的語+補語>を伴うものがある。

My father **made** **me** **a doctor**. 【SVOC】

### 4. 使役動詞 ~させる・してもらう※

使役動詞+人+動詞(原形不定詞)

My father **made** **me** **study** **English**. (私に英語を勉強させた)

have A B	AにBされる, してもらう
let A B	AがBするのを許可する
make A B	(むりやり) AにBさせる

## 5. 後置修飾

2語以上で名詞を修飾する場合は、まとめて後ろから修飾する。

- a way **to learn Italian** (イタリア語を学ぶ方法) 【不定詞】
- a friend **living in Italy** (イタリアに住む友人) 【現在分詞】
- a bag **made in Italy** (イタリア製のカバン) 【過去分詞】
- a bag **that I bought in Italy** (イタリアで購入したカバン) 【関係詞】

## 6. 仮主語 it\*

実際の主語は、後の to～ や that～ 等。

- It is hard to study English.**
- It is hard that we study English.**

## 2. 準動詞

---

動詞の原形に to～, ～ing, ～ed などが付くと、動詞以外のさまざまなはたらきをする。

### 1. 不定詞(名詞的用法),動名詞 <to ～, ～ing> ～すること・～であること\*\*\*\*

名詞のまとまり。ふつうの名詞と同じように、主語や目的語、補語になる。

- He likes **to study English.** (～すること) 【不定詞(名詞的用法)】
- He likes **studying English.** (～すること) 【動名詞】

be 動詞の場合は「～であること・なること」等。

- He likes **to be busy.** (～であること) 【不定詞(名詞的用法)】
- He likes **being busy.** (～であること) 【動名詞】

### 2. 疑問詞+不定詞\*

名詞のまとまり。不定詞の前に疑問詞が付くと その意味が添えられる。

- how to study English, when to study English**

### 3. 不定詞(形容詞的用法)\*

「～するための」など。前の名詞を修飾する。

- He knows a good way **to study English.** (英語を勉強するよい方法)

### 4. 不定詞(副詞的用法)\*

おもに文末に置かれ 目的・理由・原因や、形容詞を修飾する。

- He went to America **to study English.** 【～するために(目的)】
- He is happy **to study English.** 【～して(感情の原因)】
- He is clever enough **to become a doctor.** (医者になるなんて賢い) 【～なんて(判断の根拠)】
- Old people are slow **to accept new technology.** 【形容詞を修飾】  
(新しいテクノロジーを受け入れるのが遅い)

### 5. 不定詞の意味上の主語 <for～>\*

- I cleaned the room **for him to take photos.** (彼が写真を撮れるように～)

## 6. 現在分詞<~ing> ~している・して・しながら\*\*

形容詞的に使われ、ふつうの形容詞と同じように名詞を修飾したり、be 動詞の補語（進行形）になる。

### ○名詞を修飾

**studying boys, boys studying English**

2語以上の場合は、後ろから名詞を修飾（後置修飾）。通常は2語以上のため、後置修飾が一般的。

### ○進行形

**Tom is studying English now.**（今、勉強している）

動作や行為を強調したり 確実な予定を表すこともある。

**He is wearing a tie today.**（今日は（珍しく）ネクタイをしている）

**He is living in Tokyo.**（東京に（一時的に）住んでいる）

**He is taking the eight o'clock flight tomorrow.**（明日8時の便に乗る予定だ）

## 7. 過去分詞<~ed> ~される・された・されている\*\*

形容詞的に使われ、ふつうの形容詞と同じように名詞を修飾したり、be 動詞の補語（受動態）になる。

※過去分詞には不規則変化も多い。

### ○名詞を修飾

**boiled eggs, eggs boiled hard**（ゆでられた卵→ゆで卵）

2語以上の場合は、後ろから名詞を修飾（後置修飾）。通常は2語以上のため、後置修飾が一般的。

### ○受動態

**This egg is boiled.**（卵はゆでてある）

感情や被害はきっかけがあって起こるため、英語では「~される」と受動態で表すことが多い。

**I am satisfied with the result.** satisfy(満足させる) → satisfied(満足させられている)

※実際には satisfied で「満足している」という意味の形容詞の形容詞として扱われることが多い。

## 3. 疑問詞,関係詞,接続詞

### 1. 疑問詞

**Who do you want to talk to?**（あなたは誰と話したいのですか）

**Who wants to talk to you?**（誰があなたと話したいのですか）

※後のように疑問詞が主語のときは、後が肯定文の形になる。

#### 疑問詞

what	何
who	だれ
where	どこ
when	いつ
why	なぜ
which	どちら
whose	だれの
how	どのように

#### 連語の疑問詞

what time	何時
what day	何曜日
how old	何歳
how long	どれくらいの長さ・期間
how often	何回（頻度）
how much	いくら
how far	どれくらいの距離
how many	いくつ

### 2. 感嘆文\*\*

**What an exciting movie (this is)!** what+名詞

**How exciting (this movie is)!** how+形容詞か副詞

※（ ）部分はよく省略される。

### 3. that 節 ~ということ\*

that+SV（名詞のまとまり）。ふつうの名詞と同じように主語や目的語、補語などになる。

**I know that he drives the car.**（彼がその車を運転すること）

### 4. 間接疑問文\*

後は肯定文の語順（全体で名詞のまとまり）。ふつうの名詞と同じように主語や目的語、補語などになる。

**Please tell me when he drives the car.**（彼がいつその車に乗るのか教えて下さい）

5. 関係代名詞 who(that) 彼は～, 彼を～\*\*\*

a boy **who(that)** loves Emily (エミリーを好きな少年) 【主格】  
 a boy **whom(that)** Emily loves (エミリーが好きな少年) 【目的格】  
 ※複数形でも使う。目的格の関係代名詞はよく省略される。

6. 関係代名詞 which(that) それは～, それを～, それ\*

a radio **which(that)** was made in 1980 (1980年に製造されたラジオ) 【主格】  
 a radio **which(that)** we made in 1980 (1980年に我々が製造したラジオ) 【目的格】  
 ※複数形でも使う。目的格の関係代名詞はよく省略される。

7. 関係代名詞 what ～のもの(こと)\*

**what** I want (私が欲しいもの)  
**what** is important for me (私にとって重要なこと)  
 ※複数形でも使う。修飾される名詞のはたらきを兼ねている。  
 ※間接疑問文 と形が全く同じで、実質的な意味も同じことが多い。

4. 助動詞,仮定法過去

英語では、現在のことであまいにしたいことを過去形で表し、ていねいな表現や事実に対すること(仮定法)に使われる。いずれも日本語にはない表現。

1. 現在形の助動詞

「助動詞+一般動詞」は意思など一般的な意味を表すが、「助動詞+be 動詞」は可能性を表すことが多い。

Dogs **can** smell a faint odor. (犬はかすかなにおいをかぐことができる) 【一般的な意味】

Dogs **can** sometimes be a nuisance. (犬は時に迷惑なことがある) 【可能性】

	一般的な意味 (一般動詞)	可能性 (be 動詞)
will	～するつもりだ(≒be going to～)	～だろう
can	～できる(≒be able to～)	～はありうる(疑問文は「～だろうか」)
must	～しなければならない(≒have to～)	～にちがいない
may	～してもよい	～かもしれない
should	～すべきだ	～のはずだ

2. 過去形の助動詞の婉曲表現\*

助動詞の過去形は、過去を表すのとは別に 控えめな意味や ていねいな意味 を表す。過去を表すより、この用法の方が一般的。

Women **could** not vote 100 years ago. (女性は100年前には投票できなかった) 【過去の意味】

She **could** be an actress someday. (彼女はいつか女優になれるだろう) 【控えめな意味】

※can より意味が弱くなる。

**Could** you help me with this work? (この仕事を手伝ってませんか) 【ていねいな意味】

※can よりていねいな意味になる。

would	will (～するつもりだ, ～だろう) より控えめな意味
could	can (～できる, ～はありうる) より控えめな意味
might	may (～してもよい, ～かもしれない) より控えめな意味

3. 助動詞の慣用表現

Shall I～?	私が～しましょうか(申し出)
Shall we～?	私たちみんなで～しましょうか(勧誘)
Will(Would,Can,Could) you ～?	～していませんか(依頼, 勧誘)
Can(could,may,might) I ～?	私は～できますか(許可)

※いずれも would, could, might など 過去形を使うとよりていねいな意味になる。

#### 4. 仮定法過去\*

現在の事実に反することは 過去形で表す。

I hope I **pass** the examination. (試験に受ければなあ (可能性がある)) 【通常の文】

I wish I **passed** the examination. (試験に受ければなあ (可能性はほとんどない)) 【仮定法過去】

※hope と wish はどちらも「望む」という意味の動詞だが、仮定法では wish を使う。

#### ○if～の仮定法過去

If I **were(was)** a bird, I **could** fly there. (もし私が鳥なら、飛んでいったのに)

if～のかわりに with～などを使うこともある。

**With more time, I could** go there. (もし時間があれば、そこに行けるのに)

### 5. 完了形

完了形は日本語にはない表現で、「have」を使ってさまざまな意味を表す。

#### 1. 現在完了形 <have(has)+過去分詞>\*\*\*

完了(結果), 経験, 継続の3つの意味を表す。

I **have studied** Chinese now. (今, 勉強し終えたところだ) 【完了】

I **have studied** Chinese before. (以前 勉強したことがある) 【経験】

I **have studied** Chinese for three years. (3年間 ずっと勉強している) 【継続】

※have には「持つ」の意味が生きている。形は同じなので、文脈などからどの意味か判断する。

#### 2. 完了形がよく使われることば

完了	now, just, already (肯定文), yet (疑問文, 否定文)
継続	for~, since~, How long~?
経験	before, often, ever (疑問文), never (否定文), once/twice など

※経験では not ではなく never を使う。

#### 3. 時制の一致\*

英語では1つ1つの動詞で時(現在, 過去など)を表す。日本語訳とは時制が異なることがある。

He **said** that she **was** sick. (彼は彼女が病気であると言った)

### 6. 比較表現

#### 1. 原級 as~as: 同じくらい~\*

Mt.FUji is as **high as** Mt.Cook. (クック山と同じくらい高い)

#### 2. 比較級 ~er: もっと~, さらに, 多くの\*

Mt.FUji is **higher than** Mt.Aso. (阿蘇山より高い)

#### 3. 最上級 the ~est: 最も~, ほとんど, 多くの\*

Mt.FUji is **the highest in** Japn. (日本で最も高い)

※副詞では, the は省略するのがふつう。

He runs **(the) fastest** in the world.

○綴りが長いときは, ~er の代わりに more~, ~est の代わりに most~が使われる。

**more beautiful, the most beautiful**

○比較級と最上級は単に名詞を修飾することも多い。

a **taller** man than him (彼より背の高い男)

the **tallest** man on earth (地球上で最も背の高い男)